

■一般会計と特別会計の決算額

※老人保健医療事業特別会計の赤字決算額は翌年度繰上充用金で補てん

会計区分		歳入	歳出	差引収支
一般会計		152億3,768万円	149億3,114万円	3億654万円
特別会計	国民健康保険事業	28億2,220万円	28億591万円	1,629万円
	国保大正診療所	2億9,105万円	2億8,979万円	126万円
	国保十和診療所	2億3,329万円	2億2,778万円	551万円
	大道へき地診療所	1,020万円	985万円	35万円
	老人保健医療事業	2億9,267万円	3億1,508万円	△2,241万円
	後期高齢者医療事業	2億3,692万円	2億3,639万円	53万円
	介護保険事業	21億706万円	20億4,418万円	6,288万円
	簡易水道事業	7億7,798万円	7億7,798万円	0円
	住宅新築資金等貸付事業	3,812万円	3,812万円	0円
	園芸作物価格安定事業	754万円	751万円	3万円
	農業集落排水事業	3,881万円	3,881万円	0円
	下水道事業	8,036万円	8,036万円	0円
	ふるさとの森づくり事業	1億9,869万円	1億9,869万円	0円
計		223億7,257万円	220億159万円	3億7,098万円

■企業会計（公営企業）の決算額

※差引収支不足は過年度分損益勘定留保資金で補てん

水道事業会計	収入	支出	差引収支
収益的収支（消費税抜き）	1億542万円	1億290万円	252万円
資本的収支（消費税込み）	0円	2,487万円	△2,487万円

■基金（一般会計と特別会計）残高

一般会計財政調整基金	15億6,071万円	園芸作物価格安定基金	1億480万円
減価基金	6億2,895万円	ふるさとの森づくり基金	0円
施設等整備基金	6億6,460万円	土地開発基金	2億565万円
地域福祉基金	3億4,326万円	奨学資金貸付基金	1億1,978万円
地域振興基金	2,477万円	県証紙基金	35万円
ふるさと創生基金	1億2,880万円	国保会計財政調整基金	4億4,637万円
中山間ふるさと水と土保全基金	2,192万円	国保会計高額医療費貸付基金	1,024万円
農業集落排水事業振興基金	655万円	国保大正診療所基金	1億2,437万円
新しい町づくり基金	3億1,545万円	国保十和診療所基金	4,194万円
合併特例債まちづくり基金	3億2,370万円	介護会計財政調整基金	1億6,124万円
ふるさと支援基金	300万円	介護従事者処遇改善臨時特例基金	1,318万円
合 計		52億4,963万円	

■公債

一般会計地方債残高 199億2,442万円

（内 実質町負担額 52億5,815万円）

公債について

公債は、公共施設の建設や災害復旧事業などの財源とするため、町が借り入れるお金で「地方債」「起債」とも言い、いわゆる町の借金です。でも、個人の借金とは違って、将来その元利償還金の一部が地方交付税というかたちで国から交付されるものが多数あります。また、町が借り入れ、それを民間企業等に貸し付ける「ふるさと融資」の制度などもあり、それらは当然貸付先が償還金を負担するものです。上の表のとおり、一般会計の公債の総額は約199億2千万円ありますが、その内、地方交付税で交付されるものや転貸先が支払うものを除き、町が税金等で支払う実質の負担額は約52億6千万円となっています。

●町の財産

- ・土地……………170万8,411㎡
- ・建物……………19万5,477㎡
- ・山林……………2,304万4,199㎡
- ・推定立木……………58万2,919㎡
- ・地上権……………3,394㎡
- ・有価証券……………270万円
- ・出資権利……………5億279万円
- ・債権……………5億2,405万円
- ・物品（自動車等）……………200台
- ・物品（美術品等）……………549点